

教場めぐりハザマ教場の巻(第一回)

モットーは和氣藹藹

初吟会開催 青山メトロ公会館で



総員15名で「海南行」(細川頼之)を合吟

「今日までよちよち歩きながらやっています。皆様の支援もうけて……。午前中、二七回目の授業をしましたが、本日は一人一人の研鑽をお互いに称えようじゃないかということで、初の吟詠会を。モットーは和氣藹藹、伸び伸び明るく、楽しんでますよ。——と、鈴木重風・ハザマ教場長が挨拶した。」

才) 瑛及懐古(塩谷節山) 汪倫に贈る(李白)、烏衣巷(劉禹錫)などは、それぞれ二名ずつ合吟があった。吟詠会には、千代田岳精会から飯田龍鷹会長はじめ有志が一名出席し、それぞれ独・連吟を披露。記念撮影のあと、懇親会に移った。午後三時半、盛会裡に初吟会は終了した。

ハザマ教場が発足したのは平成九年三月五日。まる一年を経過、現在先生を入れて一八名の男子会員が、月三回練習(第一、二、四水曜日・ハザマ本社)、一カ月一吟をマスターする目標を掲げて挑戦している。

ハザマの会員は大正生まれが一名、昭和生まれが六名。最長老の山本務氏は八一才という。ここで鈴木重風・教場長に改めて二・三の点をお尋ねした。

(A) 月一吟マスターに切り換えた時期は?

「スタートしてすぐでした。一時間半の勉強のなかで、一つの吟詠を細かくマスターできる技法を習得する方向に……。」

(B) 吟題の選定は、どういうやり方ですか?

「絶句はA型主体で、入り易いもの。また参加者に親しまれているようなものを、優先的に選んでいます。」

(C) 現在の会員数は?

「スタート当初と増減はありません。」

(D) 平成九年秋の温習会に出られた人の感想はどうでしたか?

「吟の良さがわかるためには、多くの方の吟を聞くのが大事だ」ということを痛感しましたという声が多く聞かれました。いわゆる井



飯田会長はじめ出席者一同

の中の蛙でなくて……。」

なお懇親会では、磯田眞風、岩崎泰風、林吾風の各教場長が挨拶。なかでも磯田眞風副会長が、一三年前に飯田会長が、いまの会の基をつくられた時、将来、千代田を吟道大学にしたいとお話をしたことがある。

今日、それに匹敵する人材が集まりつつあると触れ、改めて大勢の仲間のつながりがうれしいと、強調されたのが、印象的であった。

編集後記

皆さんもご高承のとおり、錦秋

◎吟上達法(2)アラカルト

④行、⑤行音の強調法

③行の音、⑥行の音を強調したい時は、その前に軽く②あるいは④をつけて発音するとよい。

①万里の流れ↓バンリノ ◎ナガレ

②又聴く↓④マタ キク

③白雲と爲る↓ハクウونت

◎ナル

な行音、ま行音は破裂音です。さらにつけることにより、ことばにメリハリをつける効果がある。

の十月十一日(日)われらが千代田岳精会の記念大会が開催されました。

「ちよだ」が名実ともに、そして内外ともに大きく歩を進める記念の大会です。一人ひとりの吟友にとって、何とも誇らしく嬉しい大イベントであります。

本部からは、横山岳精宗家、横山精眞宗嗣はじめ、幹部の皆さんのご来臨を賜われることも決定済みです。

また、流統の先輩各位も来賓として続々とご参加いただける予定であります。

そこで、飯田会長、磯田副会長はじめ、幹部はすでに全力をあげてその企画、運営に取組んでいます。

素晴らしい「構成吟」になる予定です。

皆さんもそれぞれの役割分担で、秋の大会を目指し頑張ってください。

目下吟友募集中

—— 錬水教場開設 ——

さる平成二〇年二月一日、錬水教場が開設、発足しました。

加藤龍夫氏の勤務先、日本錬水(株)内で、毎週月曜日の夜、吟のおさらいは、加藤龍夫氏(前・丸の内第二教場会員)が副教場長代行、井出樹風顧問(丸の内第一教場長)が指導にあたる。

目下、日本錬水(株)社内で、吟愛好者を募集中という。